

# 子どもの病気とくすり

## くすりを与えすぎていませんか？

★子どもは**自分で病気を治す力**をおとなよりもつよく持っています。だから、いつもくすりが必要というわけではありません。子どものようすをよくみましょう。**きげん・食欲・すいみん**などのようすが良ければ、家庭で経過をみてもよいでしょう。



### ★くすりが必要な場合

#### ① 病気の症状をやわらげたいとき

高い熱やひどいせきなどのつらい症状は、くすりで症状をやわらげてあげましょう。

#### ② 病原菌を取り除き、病気を治すため

**抗生物質**は細菌をやっつけるとても大事なくすりです。かぜなどでは、安易につかうべきではありません。

#### ③ 慢性の病気を治療するため

ぜんそくや心臓病などの病気は、くすりによる管理が治療の大きな柱です。**自己判断**でくすりを中断してはいけません。

★くすりを与えるとともに安静や水分の補給など、**家庭でのケア**も大切な治療です。

★くすりには、のみやすい薬とのみにくい薬があります。**のみやすくする工夫**をしてあげましょう。